

令和8年度第1回
大阪府市地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所評価委員会
議事要旨

- 1 日 時 令和8年7月10日（金）15時00分～17時00分
2 場 所 地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所 北館3階 OIPH ホール
3 出席者 福島委員長、飯島委員、飯田委員、鈴木委員、土屋委員
4 議 事

（1）令和7事業年度業務実績に関する評価について

- ・ 令和7事業年度の業務実績について法人より説明を行った。
- ・ 次に令和7事業年度の業務実績に関する知事の評価（素案）について、事務局より説明を行った後、審議が行われた。
- ・ 今年度の評価に係る特段の意見はなかったが、次年度以降の法人運営において参考とされたい意見については、以下のとおりである。なお、意見書（案）を事務局で取りまとめ、次回の委員会において提示し、検討することとした。

＜主な意見＞

- ・ 5者での連携協定を踏まえ、感染症危機事象時における各機関との円滑な連携が図られるよう、協力体制の構築に努められたい。
- ・ 病原体の早期探知や流行状況の予測に資するため、下水サーベイランスをはじめとした新たな感染症サーベイランス手法の確立について、最新の科学的知見を活かした研究を推進されたい。
- ・ 調査研究の推進に加えて外部資金の獲得を図るべく、引き続き、地方独立行政法人の特性を活かし、研究支援に関する取組を継続されたい。
- ・ 広報に係る組織体制の強化を図るとともに、引き続き、地道かつ積極的な広報活動により報道機関との関係性を構築するなど、戦略的な情報発信に努められたい。

（2）第2期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に関する評価について

- ・ 第2期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に関する知事の評価（素案）について、事務局より説明を行った後、審議が行われた。
- ・ 第2期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績に関する評価に係る特段の意見はなかったが、参考とされたい意見については、以下のとおりである。なお、意見書（案）を事務局で取りまとめ、次回の委員会において提示し、検討することとした。

＜主な意見＞

- ・ 5者での連携協定を進めるに当たっては内部の組織体制を整備するとともに、協定の実効性を担保できるよう協力体制の構築にも十分に努められたい。
- ・ 法人の認知度向上を図るために、積極的な情報発信を社会全般に対して行うとの幅広い視野に立って取り組まれたい。
- ・ 法人の有する専門的知見を行政関係者のみならず民間の団体や企業関係者など幅広い層へ普及啓発するための研修を進めるなど、社会に還元できるよう努められたい。
- ・ 法人予算の執行について、法人はコスト意識を持って効率的な業務運営及び効果的な財務運営に努め、設立団体は法人の機動的な予算活用が図られるよう支援に努められたい。